



土浦市議会だより

Vol.222

平成28年8月17日発行

T S U C H I U R A C I T Y C O U N C I L

平成28年度土浦市議会報告会が 開催されました!!

5月9日(月)・10日(火)に、平成28年度土浦市議会報告会が開催されました。
9日(月)は午後2時から本庁舎4階第3委員会室で、10日(火)は午後7時から新治地区公民館集会室で開催され、本庁舎会場45名、新治会場41名 合計86名の参加のもと、事業報告と意見交換が行われ、様々な意見が寄せられました。

【議会報告会 (本庁舎)】



【議会報告会 (新治地区公民館)】



TSUCHIURA CITY COUNCIL
土浦市議会だより

Vol.222

- 報告会の中で左記の4つのテーマについて
市民の皆様と意見交換を行いました。
- 水郷筑波サイクリング環境整備事業
 - 新治地区小中一貫教育学校整備事業
 - 市営斎場整備事業
 - 土浦駅前北地区市街地再開発事業

目次

●議会報告会の開催について	1
●議会報告会の結果について	2
●平成28年第2回定例会の結果	3~4
●副議長就任あいさつ	3
●永年在職議員表彰	3
●議会内人事	3
●請願陳情受け付け	3
●一般質問	
竹内 裕・井上圭一・平石勝司・久松 猛	5
小坂 博・鈴木一彦・今野貴子・下村壽郎	6
島岡宏明・川原場明朗・福田一夫・松本茂男	7
《連載企画》議員のYO・KO・GA・O	
(矢口 清・柳澤 明・吉田千鶴子・荒井 武・海老原一郎)	8
●編集後記	8

<平成28年第3回定例会のお知らせ>

次回の定例会は、9月6日(火)から21日(水)に開催する予定です。
(一般質問は、12日(月)から14日(水))

<議会を傍聴しませんか!!>

市議会本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴の際は、受付(庁舎4階傍聴席入口)で、住所・氏名を記入して入場してください。ぜひご来場ください。

<定例会のインターネット配信をしています!>

市議会では、インターネットによる録画配信をしています。「土浦市議会事務局」と入力し、「本会議録画配信」を選択し、検索してください。

平成28年度の事業の内3つの主要事業について
所管の常任委員会から報告いたしました

〔総務委員会〕 平石 勝司 議員

- 1 水郷筑波サイクリング環境整備事業
- 2 シティプロモーション推進事業
- 3 地域防災対策整備事業

〔文教厚生委員会〕 福田 一夫 議員

- 1 新治地区小中一貫教育学校整備事業
- 2 水郷プール再整備事業
- 3 新図書館施設整備事業・
美術品展示室整備事業

〔環境経済委員会〕 下村 壽郎 議員

- 1 市営斎場整備事業
- 2 イルミネーション事業
- 3 協働のまちづくりファンド事業

〔都市建設委員会〕 竹内 裕 議員

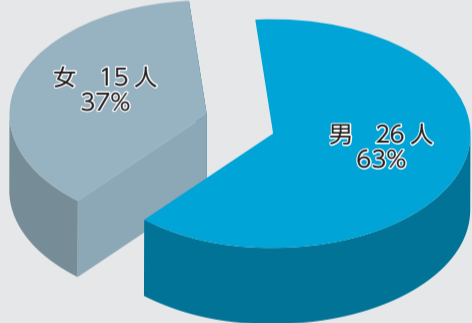
- 1 土浦駅前北地区市街地再開発事業
- 2 かわまちづくり事業
- 3 配水管施設整備事業・老朽管更新事業



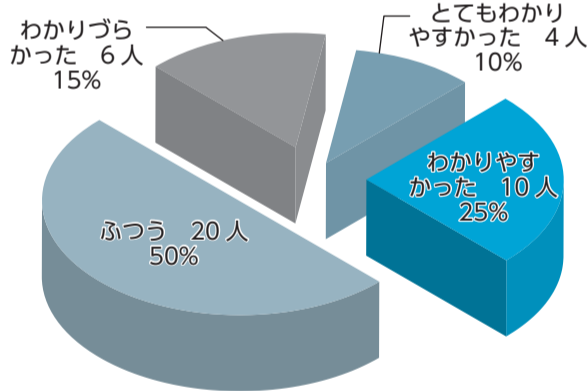
今回の議会報告会では、各会場へ来場された方にアンケートを実施しました。

アンケートについては、1. 性別 2. 年齢 3. お住まいの地区 4. 報告会について
5. 意見交換会について 6. 報告会についての感想等
【アンケート結果】については、次のとおりです。

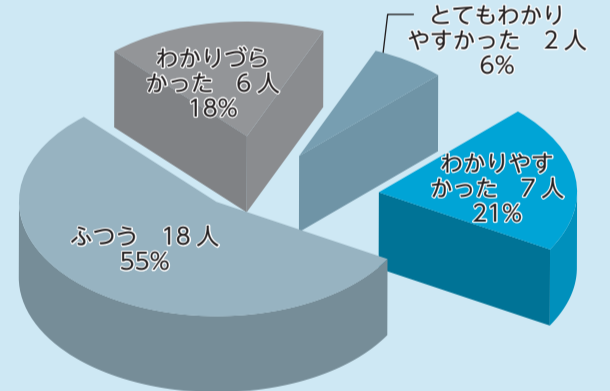
〈1. 性別〉



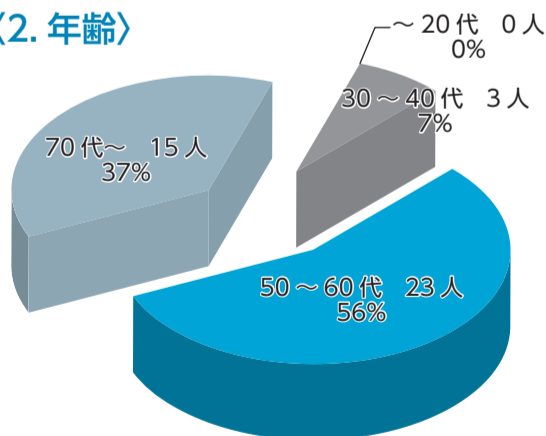
〈4. 報告会について〉



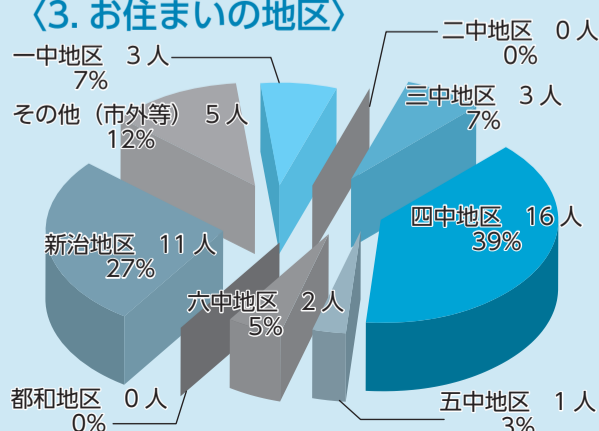
〈5. 意見交換会について〉



〈2. 年齢〉



〈3. お住まいの地区〉



〈6. 報告会についての感想等〉

- ・報告事項に対する質問だけでなく、市政一般・議会活動全般についての意見質問があっても良いと思う。
- ・非常に意味がある催しと思うので、今後も開催して欲しい。質問項目や人数を増やしてもらいたい。
- ・与えられたテーマの質問しか受け付けられないのでは、到底開かれた意見交換とは言えないのではないかな。
- ・質問や意見に対してあいまいな回答が多いと感じました。
- ・市民の意見を受けとめているのかどうか不明だった。
- ・1つ1つ委員会できちんと審議して回答をして公表して欲しい。
- ・議会として各事業について、どんな意見があったのか聞かせて欲しかった。
- ・市の執行部参加でないで無理があった。質問等したくてもできなかった。
- ・行政の説明だけでなく、問題点や課題を浮き彫りにして、市民に問題を投げかけてはどうか。
- ・各委員会の報告の添付資料が精密でない。報告の内容も理解しにくい。
- ・そもそも報告会・意見交換会とは何？ 議会そのものの意見を出してもらいたい。
- ・わかりやすい説明で良かったと思います。
- ・会場の設定も良かったと思います。
- ・初めて参加しましたが、自分達に身近な事ばかりで大変勉強になりました。
- ・気軽な気分でお話を聞く事が出来て良かった。
- ・これからもこういう機会を作っていただけたらと思います。
- ・市民の直接参加によって非常に民主的である。
- ・聞きに来ている人が少なすぎると思った。
- ・初めての出席に感激。私どもとしても関心度を高めて参りたいと反省しております。
- ・市民の声に耳を傾けて下さい。何を言っても上から目線であり受け付けてもらえない雰囲気です。
- ・議員さんを目の前にして親近感があって良かったと思います。

議案等議決結果

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
	会期の件	28.6.7	28.6.7	原案可決
報告第9号	専決処分の承認について(土浦市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の一部改正について)	28.6.7	28.6.7	承認
報告第10号	専決処分の承認について(土浦市税条例等の一部改正について)	28.6.7	28.6.7	承認
報告第11号	専決処分の承認について(土浦市国民健康保険税条例等の一部改正について)	28.6.7	28.6.7	承認
報告第12号	専決処分の承認について(平成27年度土浦市一般会計補正予算(第8回))	28.6.7	28.6.7	承認
報告第13号	専決処分の承認について(和解について)	28.6.7	28.6.7	承認
報告第14号	専決処分の報告について(和解について)	28.6.7	28.6.7	報告
報告第15号	専決処分の報告について(和解について)	28.6.7	28.6.7	報告
報告第16号	予算の繰越しについて(平成27年度土浦市一般会計継続費繰越計算書)	28.6.7	28.6.7	報告
報告第17号	予算の繰越しについて(平成27年度土浦市一般会計繰越明許費繰越計算書)	28.6.7	28.6.7	報告
報告第18号	予算の繰越しについて(平成27年度土浦市駐車場事業特別会計繰越明許費繰越計算書)	28.6.7	28.6.7	報告
報告第19号	予算の繰越しについて(平成27年度土浦市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書)	28.6.7	28.6.7	報告
報告第20号	予算の繰越しについて(平成27年度土浦市農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書)	28.6.7	28.6.7	報告
報告第21号	予算の繰越しについて(平成27年度土浦市土浦駅前北地区市街地再開発事業特別会計継続費繰越計算書)	28.6.7	28.6.7	報告
報告第22号	予算の繰越しについて(平成27年度土浦市土浦駅前北地区市街地再開発事業特別会計繰越明許費繰越計算書)	28.6.7	28.6.7	報告
報告第23号	予算の繰越しについて(平成27年度土浦市水道事業会計予算繰越計算書)	28.6.7	28.6.7	報告
報告第24号	土浦市土地開発公社の平成28年度事業計画について	28.6.7	28.6.7	報告
報告第25号	一般財団法人土浦市産業文化事業団の平成28年度事業計画について	28.6.7	28.6.7	報告
報告第26号	一般財団法人土浦市農業公社の平成28年度事業計画について	28.6.7	28.6.7	報告
報告第27号	株式会社ラクスマリーナの平成28年度事業計画について	28.6.7	28.6.7	報告
議案第52号	市議会の議決すべき事件に関する条例の一部改正について	28.6.7	28.6.21	原案可決

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
議案第53号	土浦市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	28.6.7	28.6.21	原案可決
議案第54号	土浦市老人デイサービスセンター条例の一部改正について	28.6.7	28.6.21	原案可決
議案第55号	土浦市都市公園条例の一部改正について	28.6.7	28.6.21	原案可決
議案第56号	土浦市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について	28.6.7	28.6.21	原案可決
議案第57号	土浦市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	28.6.7	28.6.21	原案可決
議案第58号	土浦市放課後児童クラブ条例の一部改正について	28.6.7	28.6.21	原案可決
議案第59号	平成28年度土浦市一般会計補正予算(第1回)	28.6.7	28.6.21	原案可決
議案第60号	平成28年度土浦市下水道事業特別会計補正予算(第1回)	28.6.7	28.6.21	原案可決
議案第61号	土浦駅西口ペDESTリアンデッキ整備工事請負変更契約の締結について	28.6.7	28.6.21	原案可決
議案第62号	土浦市営斎場整備事業外構工事請負契約の締結について	28.6.7	28.6.21	原案可決
議案第63号	財産の取得について(土浦市営斎場家具類購入)	28.6.7	28.6.21	原案可決
議案第64号	財産の取得について(土浦市営斎場葬祭用品購入)	28.6.7	28.6.21	原案可決
議案第65号	土浦市営斎場の指定管理者の指定について	28.6.7	28.6.21	原案可決
議案第66号	市道の路線の認定について	28.6.7	28.6.21	原案可決
議案第67号	市道の路線の変更について	28.6.7	28.6.21	原案可決
議案第68号	平成28年度土浦市一般会計補正予算(第2回)	28.6.15	28.6.21	原案可決
議案第69号	土浦駅北地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築関連工事請負契約の締結について	28.6.15	28.6.21	原案可決
議案第70号	土浦市副市長の選任の同意について	28.6.21	28.6.21	原案同意
議案第71号	土浦市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	28.6.21	28.6.21	原案同意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	28.6.21	28.6.21	推薦
委員会提出議案第3号	土浦市議会会議規則の一部改正について	28.6.21	28.6.21	原案可決
	土浦市議会副議長の選挙	28.6.21	28.6.21	選挙
	閉会中の事務調査について	28.6.21	28.6.21	原案可決

※色付き部分は賛否が分かれた案件

各議員の議案に対する賛否の状況

議席番号	議員氏名	件名					
		受理番号18 土浦市の子どもの甲 状腺工コー 検査費用の 助成を求め る請願書の 委員長報告 (採択)に対し て	受理番号18 土浦市の子 どもの甲 状腺工コー 検査費用の 助成を求め る請願書を 不採択とし ることに 対して	受理番号6 土浦市立幼 稚園の廃園 の中止を求 める陳情書 の委員長報 告(趣旨採 択)に対し て	受理番号7 常名運動公 園計画の見 直しを求め る陳情書の 委員長報告 (不採択)に 対して	議案第56号 土浦市立学 校の設置及 び管理に関 する条例の 一部改正に ついて	
1	平石 勝司	×	○	○	○	○	
2	吉田千鶴子	×	○	○	○	○	
3	荒井 武	×	○	○	○	○	
4	福田 一夫	×	○	○	○	○	
5	井上 圭一	○	×	○	×	×	
6	久松 猛	○	×	○	×	×	
7	勝田 達也	×	○	○	○	○	
8	塚原 圭二	○	×	○	○	○	
9	島岡 宏明	×	○	○	○	×	
10	今野 貴子	○	×	○	○	×	
11	下村 壽郎	×	○	○	○	○	
12	鈴木 一彦	×	○	○	○	○	
13	小坂 博	×	○	○	○	○	
14	篠塚 昌毅	×	○	○	○	○	
15	柴原伊一郎	×	○	○	○	○	
16	海老原一郎	○	×	○	○	○	
17	柳澤 明	○	×	○	×	○	
18	矢口 清	—	—	—	—	—	
19	吉田 博史	○	×	○	○	○	
20	寺内 充	○	×	○	○	○	
22	川原場明朗	×	○	○	○	○	
23	竹内 裕	○	×	×	○	×	
24	内田 卓男	×	○	○	○	○	
25	矢口 迪夫	×	○	○	○	○	
26	折本 明	×	○	○	○	○	
27	沼田 義雄	○	○	○	○	○	
28	松本 茂男	×	○	○	○	○	
	賛成	10	17	25	23	21	
	反対	16	9	1	3	5	
	採決結果	否決	可決	可決	可決	原案可決	

※ 賛否が分かれた案件のみを掲載。
※ 議長(矢口 清 議員)は、採決に加わらない。

請願・陳情議決結果

受理番号	件名	上程年月日	議決年月日	結果
受理番号18	土浦市の子どもの甲状腺工コー検査費用の助成を求める請願書	27.12.1	28.6.21	不採択
受理番号5	商業施設等への期日前投票所の設置(新設・移設)促進に関する陳情書	28.6.7	28.6.21	一部採択 (陳情事項1)
受理番号6	土浦市立幼稚園の廃園の中止を求める陳情書	28.6.7	28.6.21	趣旨採択
受理番号7	常名運動公園計画の見直しを求める陳情書	28.6.7	28.6.21	不採択
受理番号8	「所得税法56条」の見直しを求める請願書	28.6.7	28.6.21	継続審査

請願陳情の結果

一部採択 1件

趣旨採択 1件

不採択 2件

継続審査 1件

今定例会では、新規の請願1件、陳情3件、継続審査となっていた請願1件の合計5件について審査を行いました。不採択となった請願・陳情については、委員長報告は次のとおりです。

多数により採択となったが、採択とする委員長報告に対する本会議での採決結果は賛成少数でした。そのため改めて、不採択とする結果、賛成多数と決したため不採択と決しました。

【総務委員長報告(抜粋)】
陳情事項(2)及び(3)については、投票率向上の問題と市の財政を支出してのプレミアムサービスとの関係は直ちに結論を出せるものではなく、願意に沿い難く不採択と決しました。

【都市建設委員長報告(抜粋)】
現在策定されている計

請願・陳情って？

請願・陳情とは、国民が国や地方公共団体に対し一定の希望を述べることをいい、内容について法上何ら規定はありません。

本市議会において取り扱い方は同じですが、請願として提出する場合、必ず議員の紹介が必要となります。

画に基づき、常名運動公園が一日でも早く完成の日を迎えるため、最大限の努力を続けていくべきであるとの意見が出され、陳情内容に賛意は見いだせず、全会一致で不採択と決しました。

一般質問



竹内 裕
＜一括質問＞

Q 市営霊園の現状と今後の対策について伺います。

A【市民生活部長】

土浦市には国分霊園、並木霊園、今泉第一霊園、今泉第二霊園の4カ所があり、未使用区画の数は、本年4月末現在、国分霊園では2千23区画のうち119区画、空き区画が13区画、並木霊園では345区画のうち未使用区画が47区画、空き区画が4区画、今泉第一霊園では1千761区画のうち未使用区画が396区画、空き区画が46区画、今泉第二霊園では1千582区画のうち449区画、空き区画は236区画となっております。

【その他の質問事項】

- ・ つくばエクスプレスを土浦に延伸するとう市長公約の12月議会答弁、具体的な対策はマイナンバー法施行後の現状と今後の対応について
- ・ 高津庁舎跡施設利活用について、支所及び出張所設置は

千葉県市の市川市では、平成15年から市営墓地の造成余地不足と、墓地の跡継ぎ不足からの無縁化防止として、墓地返還促進事業を始めており、これは墓地使用料の一部返還と引きかえに墓地の返還を促す制度で、水戸市、東京都、静岡県磐田市、東京府、静岡磐田市、東京府、静岡磐田市の4自治体で行われています。

現在、土浦市霊園条例では、霊園管理料の滞納による使用権の消滅、使用許可の取り消し、墓地



一般質問とは 市政一般について市長などの執行部の考え、方針を質問することです。議会だよりでは紙面の都合上、質問を一つ取り上げて要旨を掲載しています。今定例会では、2名の議員が、「一問一答方式」で実施しました。その質問についても1回目の質問時の答弁を掲載します。



井上 圭一
＜一問一答＞

Q 公立幼稚園廃止について伺います。

A【教育長】

土浦市立幼稚園、小学校及び中学校適正配置等検討委員会から幼稚園の適正配置の提言を受け、平成24年4月に土浦幼稚園といくぶん幼稚園を統合しましたが、その後も市立幼稚園の園児数は減少が著しく、定員の3分の1の園児数となったため、改めて検討委員会を設置するとともに、当時の保護者とこれから入園を予定している保護者等へ、アンケート調査を実施し、市立幼稚園を取り巻く現状と課題についての整理、検討を行いました。

その結果、明らかとなった現状と課題に対応すべく、市長と教育委員で組織する総合教育会議において、市立幼稚園の今後の在り方についての協議を行い、その協議結果を踏まえ、教育委員会では本市の幼稚園教育全体を私立幼稚園や認定こども園に託し、市立幼稚園については将来的に廃止していく方向とする基本的な考え方をまとめました。

その後、学区審議会や総合教育会議等で協議検討を重ね、本年3月に教育委員会、平成30年3月末に、土浦第二幼稚園、都和幼稚園、大岩田幼稚園を残る2園に統合し、その4年後の平成34年3月に土浦幼稚園及び新治幼稚園を廃園とする土浦市立幼稚園の再編計画(案)を作成しました。教育委員会では、この案に関するパブリックコメントや各幼稚園で説明会を実施し、参加者から計画の撤回や延期の意見もありましたが、市立幼稚園が現在抱えている課題や、今後ますます入園希望園児が減る状況を懸念し、これを先延ばしせず、できるだけ早く対応すべきものと考え、子どもたちの教育環境を少しでも充実させようという目的で、市立幼稚園の再編計画を策定し、その第一段階である3園の廃園を実施しようとするものであります。



Q 土浦市立幼稚園の再編計画について「公」と「民」の役割、「公」の役割について伺います。

A【市長】

近年の本格的な人口減少や急速な少子高齢化の進行による社会経済情勢の中、行政運営の効率化と行政サービスの向上を図るため、民間において担うことのできるサービスは、市民サービスを優先しつつも、積極的に民間活力を活用して、費用対効果等も考慮しながら、真に必要な事業を厳選した上で、計画的で、戦略性の高い、持続可能な行財政運営に取り組み



平石 勝司
＜一括質問＞

でまいりました。幼稚園の再編計画についても、本市の状況から私立幼稚園や認定こども園が幼稚園教育全体を十分に担うことができる判断をして、子どもたちの教育環境を現在より少しでもよくしていこうという考えで、再編計画を実施するものであります。

Q 地域公共交通について

A【都市整備部長】

利用しやすい魅力ある公共交通体系の実現を目的に、土浦市地域公共交通総合連携計画を策定し、公共交通不便地域の解消を目的としてコミュニティ交通の導入を位置付け、平成23年10月から平成26年3月まで新治バスの試験運行を実施しました。

新治バスの運行結果を踏まえ、平成27年2月に地域の方がコミュニティ交通を導入したいと思われた時に、必要な事項を記載したコミュニティ交通導入の手引を作成し、相談窓口を都市計画課に設けました。

この手引ではコミュニティ交通の導入の条件として、導入を希望する地域が公共交通不便地域であることその他に、地域が支えるという機運醸成の下、地域が一体となって利



久松 猛
＜一問一答＞

用促進を図ることが大変重要であることから、コミュニティ交通運行のため自治会や商工業者等で組織する運営委員会の設置を条件としています。さらに地域が主体となり、持続可能な運行を図るため、運行経費の3割を運賃収入で確保していただき、3割に満たない分については地域負担を条件としています。

試験運行期間の2年間に限り地元負担をなくし、運営委員会の立ち上げのハードルを下げてはとのことですが、市域の中にはバスが運行していない地域もあり、このような地域とのバランス、税負担の公平性等を考慮するとともに、受益者負担の原則からも試験運行期間においても一定割合を運賃収入で確保いただく必要があると考えています。

【その他の質問事項】

- ・ 子どもの貧困対策について

【その他の質問事項】

- ・ 就学前教育の充実について
- ・ 幼保連携型認定こども園について





小坂 博 <一括質問>

Q かすみがうらま
ランを中心市街
地活性化のために
市役所前のスター
トはできないのか
について伺います。

A【教育部長】

本年度第26回を迎えるかすみがうらまラン兼国際盲人マラソン大会は、平成3年に市制50周年を記念し開催して以来、第5回では全国盲人マラソン大会を同時開催し、国際陸上競技連盟と国際パラリンピック委員会の公認を得るなど、現在は5キロ、10マイル、フルの一般のマラソンと国際盲人マラソンに加え、車椅子レースのほか、霞ヶ浦湖畔のウォーキングも同時開催しています。

マラソンのスタートが市役所本庁舎前になると、スタート時はうらら広場の空間を活用した演出によりランナー及び



援者の気持ちが一つになり、大変な盛り上がりを見せることも想定され、本大会や市のイメージアップにつながることを期待されますが、コースの変更、スタート前のランナー等のたまり場所、仮設トイレ、更衣室の設置場所、関係車両の待機場所の確保、荷物預かり方法の変更等の問題が想定されます。

ゴール地点については現在の川口運動公園以外に、困難であると考えており、スタート位置を駅前に変更すると、スタート時における参加者の滞留の道路延長が長くなることに加え、交通規制の影響を受ける住民と関係者の方々の数はこれまでよりはるかに多くなり、地元の皆様のご理解とご協力が必要不可欠となります。

どのようなにすればリーダーや参加ランナーの満足感を損なわず、中心市街地活性化に貢献できるか、様々な角度から土浦警察署や陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地を始めとする実行委員会の皆さんとともに、今後とも調査研究を続けてまいります。



鈴木 一彦 <一括質問>

Q 土浦市地球温
暖化防止行動計
画についての今後
の具体的取組に
ついて伺います。

A【市民生活部長】

地球温暖化問題は、自然の生態系及び人類の生活に深刻な影響を及ぼすものであることから、本市では、市域における地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するため、平成22年3月に、土浦市地球温暖化防止行動計画を策定しました。

これまでの市の主な施策と効果ですが、最新技術と最先端技術の導入として、小中学校等の公共施設へ太陽光発電システムを計画的に推進し、平成27年度の温室効果ガス削減量は145トンとなりました。

意識の変革と実践としては、環境展等の様々なイベントにおいてエコドライブシミュレーターによるエコドライブの普及啓発やプラスチック製容器包装及び生ごみの分別収集を図ってまいりました。

低炭素型のコンパクトなまちづくりの項目としては、平成20年8月から第4水曜日をノーマイカーデーとし、平成25年1月からは、毎月第4週をノーマイカーウィークとし、職員の通勤時の自家用車利用を公共交通機関や自転車、徒歩へ切り

かえを図ってまいりました。

また、協働の環づくりとしては、平成24年度より、市域で温室効果ガス排出量の削減及びごみの減量等に率先して取り組む事業者と土浦市エコパートナー協定を締結し、協働による低炭素社会づくり及び循環型社会づくりを推進しており、平成27年度末で26の事業者と協定を締結しています。

市としましては、これまでの取り組みを継続、強化していくことが重要と認識しており、さらに、二酸化炭素の吸収源でもある森林等の保全にも注視していかねばならないと考えています。

【その他の質問事項】

- ・市主催の主な行事の今後の方向性を伺う。
- ・農業公社の今後の方向性を伺う。



今野 貴子 <一括質問>

Q 街並みの美観
について

現在の土浦の街並みは、錆付いたガードレールや歩道橋、雑草だらけの道路、放置されている空き家、空き店舗等、美観が損なわれている箇所が目につく。美観を整えることも移住者促進や観光客増加につながると思うが、市はどのようなに考えているか伺います。

A【都市整備部長】

本市の景観形成の取り組みについては、平成23年に指針となる景観計画を策定し、同時に景観条例を施行しています。

また、平成25年には公共施設景観形成ガイドライン、公共サイン整備ガイドラインを策定し、民間施設だけでなく、行政が行う施設整備についても、デザインや維持管理についての基本方針を定めています。

景観整備には、効果があらわれるまで長い時間がかかりますが、市民、事業者、行政が一体となつて、土浦らしい魅力ある景観づくりを協働で進めるとともに、既存の施設、設備についても適正な維持管理を行うことで美観の向上を図ってまいります。



A【建設部長】

市で管理しているガードレールについて、強度に問題があるものは、適宜交換を実施し、強度に問題がなく、塗り直しが効果的な場合等は、景観面を十分考慮し、機能と価格の両面から検討した上で対応をしていきたいと考えています。

道路の草刈りについては、幹線道路や交通安全上支障がある箇所は、業者への委託、道路補修事務所の直営作業にて清掃を実施しているが、限られた予算の中で全ての道路を常時きれいな状態に維持することは大変厳しいのが実情です。

地域によっては、地区住民の方々にボランティアで道路の草刈りを実施していただいているところも数多くあり、市としては、このような地域の取り組みを支援し、取り組みがさらに広がるような方策を検討し、今後とも可能な限り、通行機能を確保した上で道路景観に配慮していきたいと考えています。

【その他の質問事項】

- ・協同病院移転後の真鍋地区活性化対策について
- ・小松坂下交差点について



下村 壽郎 <一括質問>

Q 関東大震災級の
直下型地震で想
定される被害につ
いて伺います。

A【総務部長】

内閣府に本部のある中央防災会議の中の首都直下地震対策検討ワーキンググループでは、「首都直下地震の被害想定と対策について」として、マグニチュード7クラスの地震は今後30年間に70%の確率で発生すると予想しています。

巨大地震の1つである首都直下地震が発生した場合、本市の震度は6弱と予測され、防災の指針である土浦市地域防災計画では、本市の被害想定は、推定死者数は約60人、負傷者数は約1千500人、全壊家屋数は約6千棟、避難者数が約6万人で、うち約4万5千人が避難所生活を強いられる可能性があるとしてしています。

また、本市の地域防災計画では、本市の被害想定は、推定死者数は約60人、負傷者数は約1千500人、全壊家屋数は約6千棟、避難者数が約6万人で、うち約4万5千人が避難所生活を強いられる可能性があるとしてしています。

【その他の質問事項】

- ・耐震対策について
- ・公共工事看板について



また、本市の地域防災計画では、阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災等の教訓や、首都直下地震の被害想定等を踏まえ、震度7の地震や広域的な災害を発生させる地震を想定した防災対策の確立を図るとしておりますが、この度の熊本地震では、想定していなかった震度7の地震が続けざまに2度発生するなど、自然災害は不確実性を伴うものであることから、今後は被害想定を超えるような大規模災害や複合災害等への対応が必要と考えています。

そのようなことから、今後においては、いつ発生するかわからない災害に対し、十分な備えをしていただけるよう、引き続き市民に強く呼びかけるとともに、国や県、他市の状況も見定めながら、本市地域防災計画の見直しと、減災に向けての様々な施策に取り組んでいきたいと考えております。



島岡 宏明 <一括質問>

Q 孤立死の予防対策について
高齢化や核家族化により単身高齢者世帯や高齢者夫婦のみの世帯が急増している中で、わが市としての孤立死の予防する為の対策をお考えか伺います。

A【保健福祉部長】

少子高齢化や核家族化等の社会環境の変化により、ひとり暮らしの高齢者数は増加し、これに伴い、近隣に気づかれず亡くなり、しばらく経ってから発見される孤立死と呼ばれる出来事も増加しています。

本市での状況は、ひとり暮らし高齢者数は、平成28年4月1日現在で約3千人と捉えており、率では8%ぐらいの高齢者がひとり暮らしと捉えており、孤立死される方も年に数件把握しており、今後さらに増加していくと考えられます。

本市では、ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業や乳製品を定期的に自宅にお届けするひとり暮らし高齢者愛の定期便事業など多岐にわたって実施して、今後ひとり暮らし高齢者の不安解消につなげたいと考えています。

また、孤立死は、人間関係の希薄化や地域にお



川原場 明 朗 <一括質問>

Q 新協同病院開院に伴う神立駅からのアクセス道路整備及び通院の利便性向上の課題に対する喫緊の対策について伺います。

A【都市整備部長】

土浦協同病院が移転開院したおおよつ野団地の中央を通る都市計画道路の田村沖宿線を、神立東方面に延伸する道路整備は、平成24年度に国の大型補正の採択を受け、現在、整備を進めているところで

【その他の質問事項】
・子どもたちや保護者に対しての支援相談窓口について

意外とグルメ、意外と便利、意外と遊べる…などなど意外と〇〇な土浦の魅力を紹介するサイトへGO!
<http://www.tsuchiura-pr.jp/>

意外と〇〇! つちうら

今後は、早期に完成ができるよう、引き続き地権者の皆様と用地の交渉を進めながら鋭意努力してまいります。

なお、神立駅から土浦協同病院までの移動手段としては、65歳以上の方は、ドア・ツー・ドアで利用できるのりあいタクシー土浦をご利用いただきたいと存じます。

民間バス路線の新設は、病院利用者の利便性に資することから、バス事業者に対し、運行していただけるよう引き続き働きかけてまいります。バスが運行するにあたり十分な幅員を確保するため、道路整備につきましても早期に完了するよう努力してまいります。

【その他の質問事項】
・神立駅東地区の都市基盤整備等の面的整備及び協同病院へのアクセス道路を含む一体的整備計画の必要性の提唱について

この事業は、国道354号のおおよつ野団地入口交差点と県道戸崎上稲吉線までの延長約2キロメートルを優先整備区間とし、このうち、おおよつ野団地入口交差点から白鳥町の市道1級13号線までの約470メートルについては、土浦協同病院の開院に合わせて、去る3月1日に供用を開始しました。



福田 一 夫 <一括質問>

Q 成年後見制度について
(1)これまでの利用状況は
(2)利用促進について伺います。

A【保健福祉部長】

成年後見制度には法定後見制度と任意後見制度があり、法定後見制度は、家庭裁判所が本人、もしくは4親等以内の親族の申し立てで、判断能力の程度や事情により、補助人、保佐人、後見人の3つの類型を決め選任するという制度で、任意後見制度は、将来判断能力が不十分な状態になった場合に備えて、予め自分で選んだ代理人に生活や財産管理に関する事務の代理権を与える制度で、窓口は、公証役場になります。

平成27年中の成年後見制度の利用状況は、全国の申し立て件数が3万4千782件、利用が認められたものが3万4千496件で、このうち茨城県内では477件が認められ、そのうち、62件が市町村長の申し立てです。

本市では、平成22年度から成年後見制度利用支援事業を実施しており、平成27年度までの市長申し立て件数は9件あり、認知症高齢者に対するものが4件、知的障害者が3件、精神障害者が2件

で、後見人の類型は、保佐人が1人で後見人が8人選任されています。

利用促進については、平成26年4月に土浦市社会福祉協議会に「成年後見センターつちうら」を開設し、成年後見制度の申し立てに関する相談や申し立て支援のほか、出前講座による制度利用啓発等を行っており、平成27年度には、相談件数が37件ありました。

また、平成27年度には、将来的に弁護士等の専門職後見人が不足することに加え、市民後見人養成講座を開催し、10名の方が修了しており、間もなく、社会福祉協議会が法人として後見を受任する法人後見にも取り組むこととしていきます。

超高齢社会を迎え、成年後見制度利用のニーズはますます高まること予想されており、成年後見センターつちうらを活用して、制度の周知を図ってまいります。

【その他の質問事項】
・高齢化社会における自治会・町内会活動について



松本 茂 男 <一括質問>

Q 消防職員について
(1)女性職員について
(2)女性専用施設について伺います。

A【消防長】

女性吏員の雇用は、昭和44年に川崎市が12人を採用したことに始まり、その後、東京都、横浜市、越谷市を始め、平成27年4月現在、全国で3千850人の女性消防吏員が活躍しています。

全国の消防吏員に占める女性の割合は24%で、警察の81%、自衛隊の57%と比べると、低い状況となっています。茨城県の女性吏員の状況は、43人、割合では0.98%で、本市は、現在2人、総員185人中女性の占める割合は1.08%という状況です。

女性が救急業務に携わることによって、女性の傷病者に接した際に、男性の救急隊員よりも傷病者に抵抗感を与えないことや女性特有の病気のことも等も女性隊員の方が話しやすいという心理的な安



堵感を与えるばかりでなく、火災や事故の現場でも子どもや高齢者などに優しく配慮できるなど、柔軟性を持った女性の活躍が求められており、消防防災体制の向上を目指すために、性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮できる体制づくりに努めてまいります。

本年2月から田中町で業務を開始した新消防庁舎における女性専用施設は、訪れる人と働く人の双方に優しい庁舎を基本とし、人と地球に優しい庁舎を整備基本方針に掲げて建設したこと、感染防止とプライバシーの保護を考え、全ての仮眠室を個室化し、また、女性専用ルームを設けるなど、女性の職場環境にも十分配慮した設計になっており、将来女性職員が増えることを考え、最大12人の勤務が可能で、女性に優しい働きやすい職場環境の改善に努めています。

連載企画

議員のYO-KO-GA-O (議員の横顔)

今回は、議員4期目となる議員について紹介します



矢口 清

【自己紹介】

現在は土浦市議会基本条例の運用に基づき、公平性、透明性、信頼性が確保された分りやすい議会運営に努めています。電気会社代表取締役会長。

【土浦の良い、好きなおとこ】

東京都圏内にあり、地理的にも経済的にも大変恵まれたところ。農業も盛んで美味しく新鮮な野菜や果物が豊富です。東京への通勤圏内にあり、地元にも生活を支える仕事があり、暮らしやすいまちです。また、日本一の花火大会があり、さらに新治地区に広がる田園風景は人の心を和ませてくれます。

【議員活動をふり返って】

平成16年4月、私の議員活動の出発は、新治村議会議員で、リーマンショックがあり、政権交代、東日本大震災、常総市の水害、熊本地震と、まさに激動の12年でした。

議員活動では、仕事で培った生産技術、品質管理、顧

客対応、クレーム処理等の知識は大変役に立ちました。平成18年の合併により土浦市議会議員となり、合併特例債を活用した大型社会資本整備が行われ、まもなく新しい土浦市の姿が見えてきます。その他六号バイパスの4車線化や大岩田穴塚線の拡幅も着手しました。

しかし、合併十年後の本市の人口は、合併時に想定した人口より2万人も減少しており、本市でも少子高齢化が急速に進展をしています。

この12年で議員を取り巻く環境が大きく変わっています。市民の皆さんの議員を見る目も厳しくなりました。常に初心を忘れず、謙虚をモットーに議員活動を続けてきました。

【4期目の抱負】

議会改革に不断に取り組みます。人口減少により地域の活力が失われ、地域のコミュニティが崩壊する地域も出てきており、地方創生を最優先課題として取り組めます。婚活支援、子育て支援、高齢者の生きがい作り、住み慣れた地域で安心して暮らすことの出来る社会を目指したい。さらに女性活躍社会の実現、つくば市との合併推進、つくばTXの延伸、常名運動公園の解決、行財政改革の推進等を目標課題としたい。



柳 澤 明

【自己紹介】

自分では若いつもりでも、気が付けばいつの間にか還暦を過ぎ、体力的にも

65歳という年齢を自覚させられる時がまあるこの頃です。青年期の10年間を除き土浦で暮らしてきた半世紀、その歳月の内のかほとんどが地域に貢献できたのか甚だ疑問の残るところですが、自分の能力の範囲内では何とか頑張ってきたのかなと甘い点数をつけております。

【土浦の良い、好きなおとこ】

住めば都という言葉がありますが、地理的にも気候的にも自然環境面でも恵まれた地域であると思っております。全国的な調査での評価は決して高くはありませんが、いくつかの課題を挙げれば総合的には上位であろうと思えます。

【議員活動をふり返って】

議会最初の一般質問のテーマが穴塚大池にキャンプ場を作ろうということでした。幼少期における自然体験がその後の人格形成に大きな影響を与えるという文科省の調査報告もあり、私の議員活動の大きな目的の一つとして現在も総合的に取り組んでいます。また、提案型の議員というスタンスで様々な課題に取り組んできましたが、予算の面や執行部との意見の相違などで、目の目を見られない案件がいくつもあります。今後ともあきらめることなく、練り直しをしながら少しずつ形を作っていくとと考えています。

【4期目の抱負】

「地方議員の本分は行政の監視役にある。」1期目からこのことを念頭に活動をしてきました。誰もが自分の職責と真摯に向き合い全力投球をしているところですが、立場によってその結論が異なる場合があることは否めません。これまでは直球一本勝負で、執

行部と摩擦が起こることも多々あったような気がしますが、最近はいくらか変化球も覚えてきました。今後はさらに投球術を磨いて市民生活の向上、市政発展に少しでも寄与できるように努めていきます。



吉田 千鶴子

【自己紹介】

結婚を機に土浦に住み早38年、同居していた両親や私の両親が旅立ち、二人の子ともたちは結婚し、孫4人となりました。私は結婚して、土浦の地域の皆様に育てていただき感謝の心で活動してまいります。

【土浦の良い、好きなおとこ】

水と緑の自然にあふれているところ。まず、水郷公園から眺める霞ヶ浦に登る日の出や霞ヶ浦から眺める荘厳なる夕日は感動し明日への活力に繋がるものです。そして、小町の里を望む緑の風景は心が安らぎ豊かな時が流れます。桜川や乙戸沼公園等の桜咲く景観は家族や友人との語らいの場所や心華やく所です。また、日本一の作付け面積・収穫高を誇るレンコンの田園風景は土浦ならではの魅力です。

【議員活動をふり返って】

主婦の目線、子育ての経験、介護の経験を活かしてと背中を押していただき、13年前に初当選をさせていただき議員活動を開始いたしました。とにかく皆様の負託にお応えできるよう一所懸命に取り組むことを肝に銘じて

まいりました。そうした中で、市民の皆様の声を行政に届け意見交換や一般質問を通し政策提言をしてまいりました。文教厚生委員会での8年間は赤ちゃんから高齢者までの問題解決に取り組みでまいりました。

【4期目の抱負】

昨年制定された議会基本条例を遵守し、この二年、副議長の専任事項となつていく広報広聴委員の委員長として委員の皆様や議会事務局の皆様とともに、開かれた議会を目指し昨年の11月24日に、初の議会報告会を開催し、また、本年の5月に2回目となる議会報告会を開催いたしました。

【自己紹介】

この機会を通し議会や議員の役割を知っていただくとともに市民の皆様との意見交換を行い市政の諸課題に対処してまいります。そして、市政の発展と市民の皆様にとつて誇れる土浦市となる笑顔あふれる土浦市となるよう一所懸命取り組んでまいります。

【土浦の良い、好きなおとこ】

水と緑の自然にあふれているところ。まず、水郷公園から眺める霞ヶ浦に登る日の出や霞ヶ浦から眺める荘厳なる夕日は感動し明日への活力に繋がるものです。そして、小町の里を望む緑の風景は心が安らぎ豊かな時が流れます。桜川や乙戸沼公園等の桜咲く景観は家族や友人との語らいの場所や心華やく所です。また、日本一の作付け面積・収穫高を誇るレンコンの田園風景は土浦ならではの魅力です。

【議員活動をふり返って】

工業高校建築科卒業後専門学校で土木工学を学び民間会社にて土木の技術者として多くの現場を経験させて頂きました。その後国会議員秘書となり政に参加するようになり、この間に阪神淡路大震災が発生、ボランティアとして当時仲間3人と食料を車に積み避難現場に行き支援活動をさせて頂きました。

【自己紹介】

この経験が貴重な財産

なっております。【土浦の良い、好きなおとこ】霞ヶ浦の玄関の街、桜川、備前川、新川、亀城公園、筑波山を望む自然豊かな地域、自然災害の少ない地域、冬でも農産物が生産される地域、すばらしい環境に住んでいられることに感謝したいと思います。

【議員活動をふり返って】

市政に対して市民の要望や意見に耳を傾けてまいりました。常に心がけていくことは「答えは現場にあり」です。現場に赴き現場の声を聞くことを基本にしております。

【4期目の抱負】

初当選以来特に進めてきた政策は「防災・減災」です。阪神淡路大震災を経験し先の東日本大震災後も要望や提言を執行部にさせて頂きました。平成21年10月8日未明に穴塚上高津地域竜巻被害が発生し2人が人的被害、200軒を超える家屋に被害をもたらし、その後つくば市北条地内で大規模の竜巻が発生致しました。

【自己紹介】

また、昨年9月の関東東北豪雨における鬼怒川の決壊や熊本大分地震で連続発生した震度7という「まさかまさか」も起こりました。今後必ず起きる自然災害を少しでも防災減災に繋がるよう多くの市民から声を聞きながら「震災被害者」を出さない対応策を進めてまいります。

【土浦の良い、好きなおとこ】

温暖で、美味しい果物、野菜も採れ、水の心配も無く、本当に住みやすい町です。好きなおとこは、桜の花と花火ですが、特に桜は私の母校の真鍋小学校の桜です。校庭の真ん中の5本のソメイヨシノの老樹は、樹齢10年を超え、茨城県の天然記念物にも指定され、毎年「桜を楽しむついで」や「お花見集会」の恒例行事が開催されています。

【議員活動をふり返って】

わが郷土「土浦市」を元気にするため、3期12年間議員活動を頑張つてまいりました。その間、市民の皆様のご意見や要望等を拝聴し、身近な問題は、直接担当部に投げかけ、大きな問題や提案は、執行部に一般質問をしてまいりました。私は、明日の土浦のため、今、何が出来るかを motto に議員活動をしてまいりました。今後も、市民の皆様の声や、市政に反映できるように議員活動をしてまいります。

【4期目の抱負】

文教厚生委員会、環境経済委員会を経験し、今期は総務委員会所属となりました。総務委員会は、市長公室・総務部、そして消防が所管です。多くの委員会を経験し、幅広い観点から、案件の判断をしていきたいと思っております。

れ62歳。昭和51年から25年間、銀行に勤務。現在は不動産管理会社役員、元土浦市監査委員。【土浦の良い、好きなおとこ】何と言つても、気候が温暖で、美味しい果物、野菜も採れ、水の心配も無く、本当に住みやすい町です。好きなおとこは、桜の花と花火ですが、特に桜は私の母校の真鍋小学校の桜です。校庭の真ん中の5本のソメイヨシノの老樹は、樹齢10年を超え、茨城県の天然記念物にも指定され、毎年「桜を楽しむついで」や「お花見集会」の恒例行事が開催されています。

【議員活動をふり返って】

わが郷土「土浦市」を元気にするため、3期12年間議員活動を頑張つてまいりました。その間、市民の皆様のご意見や要望等を拝聴し、身近な問題は、直接担当部に投げかけ、大きな問題や提案は、執行部に一般質問をしてまいりました。私は、明日の土浦のため、今、何が出来るかを motto に議員活動をしてまいりました。今後も、市民の皆様の声や、市政に反映できるように議員活動をしてまいります。

【4期目の抱負】

文教厚生委員会、環境経済委員会を経験し、今期は総務委員会所属となりました。総務委員会は、市長公室・総務部、そして消防が所管です。多くの委員会を経験し、幅広い観点から、案件の判断をしていきたいと思っております。

【自己紹介】

昭和28年8月10日生ま

【市民のみなさまからのご意見募集！】

広報広聴委員会では、議会だよりを作成するにあたり、ご意見・ご要望を募集いたします。下記までお寄せください。〒300-8686 土浦市大和町9番1号 土浦市議会事務局 FAX：029-826-3379 メールの場合は、土浦市議会ホームページの「お問い合わせ」の中の「お問い合わせフォーム」から送信願います。

【編集後記】

庭先の花がバラから紫陽花へ、紫陽花のつややかな葉の上に小さなアマガエルが。童謡唱歌「あめふり」あめあめふれふれ かあさんが、想い出される季節の到来ですね。

しかしながら、最近の局地的大雨は、昨秋の関東・東北豪雨災害で鬼怒川堤防が決壊し甚大な被害をもたらした。土浦市は、水防訓練を先5月28日に佐野子の桜川左岸で、堤防の決壊を防ぐ工法や水難工法を実施。災害を最小限度に食い止めるための備え、自助、そして共助が大切である。(前委員長 吉田千鶴子)

Table with 2 columns: 広報広聴委員会 (委員、副委員長、委員) and 委員名 (小坂博、平石勝司、荒井武、福田一夫、竹内裕、内田卓男)